

## 近江商人・商売の心得十訓

- 一、 商売は世の為人の為の奉仕にして利益はその当然の報酬なり。
- 二、 店の大小よりも場所の良否、場所の良否よりも品の如何。
- 三、 売る前の世辞より売った後の奉仕これこそ永遠の客をつくる
- 四、 資金の少なきを憂うなかれ、信用の足らざるを憂うべし。
- 五、 無理に売るな、客の好むものも売るな、客の為になるものを売れ。
- 六、 良きものを売るは善なり、良き品を広告して多く売る事はさらに善なり。
- 七、 紙一枚でも景品はお客を喜ばせる、つけてあげるものの無い時笑顔を景品にせよ。
- 八、 正札を守れ、値引きは却って気持ちを悪くする位が落ちだ。
- 九、 今日の損益を常に考えよ、今日の損益を明らかにしないでは寝につかぬ習慣にせよ。
- 十、 商売には好況、不況はない、いずれにしても儲けねばならぬ。